

日本文学愛読書に関するアンケート

六十二年度の文化祭に際し、その作品展の一つとして、国文科では女流作家展を催した。その際、食物科、英文科、国文科の二・三回生の人達の協力を得て、左のアンケートをとり次のような結果が出た。

問一、日本文学に於ける好きな作家とその作品をあげよ。

- 1 夏目漱石 「心」「三四郎」
- 「坊っちゃん」「草枕」
- 2 武者小路実篤 「愛と死」「友情」「心理先生」「人生論」
- 3 島崎藤村 「破戒」「春」
- 4 芥川龍之介 「河童」「奉教人の死」「歯車」
- 5 太宰 治 「人間失格」「斜陽」
- 6 堀 辰雄 「風立ちぬ」「菜穂子」
- 「井上 靖 「氷壁」「敦煌」
- 「森 鷗外 「雁」「うたかたの

記

- 7 川端康成 「伊豆の踊子」「雪国」
 - 「山本有三 「女の一生」「波」
 - 8 谷崎潤一郎 「細雪」
 - 「志賀直哉 「暗夜行路」
 - 「石川達三 「風にそよぐ葦」
 - 「人間の壁」
 - 9 有島武郎 「或る女」
 - その他 横光利一、倉田百三、三島由紀夫、国木田独步、etc.
- 問二、日本文学に於ける好きな女流作家とその作品をあげよ。
- 1 樋口一葉 「たけくらべ」
 - 「にこりえ」「大つごもり」
 - 2 幸田 文 「おとうと」「流れる」
 - 「清少納言 「枕草子」
 - 3 壺井 栄 「二十四の瞳」「風」
 - 4 紫 式部 「源氏物語」

問三、日本文学と外国文学のどちらを多く読むか。

- 「宮本百合子 「伸子」
- 「山崎豊子 「のれん」「ぼんち」
- 5 野上弥生子 「迷路」「真知子」
- 6 有吉佐和子 「紀の川」
- 7 林芙美子 「放浪記」「浮雲」
- 8 円地文子 「女の綾」
- その他 与謝野晶子、和泉式部、岡本かの子、佐多稲子、原田康子 順

問四、現代文学と明治・大正文学のどちらを多く読むか。

- | | 食物科 | 英文科 | 国文科 |
|---------|-----|-----|-----|
| 現代文学を多く | 41% | 62% | 34% |
| 日本文学を多く | 41% | 32% | 55% |
| 同程度読む | 18% | 6% | 11% |
- 問五、あなたは紫式部と清少納言のどちらに魅力を感じるか。
- | | 食物科 | 英文科 | 国文科 |
|---------|-----|-----|-----|
| 現代文学を多く | 70% | 70% | 55% |
| 明治大正を多く | 22% | 28% | 36% |
| 同程度読む | 8% | 2% | 9% |

紫式部 食物科 英文科 国文科
50% 48% 51%

清少納言 50% 52% 49%

問六、あなたは源氏物語をどの程度読んだか(原文でも訳文でも)

食物科 英文科 国文科

全部読んだ 3% 9% 31%

半分位読んだ 45% 49% 38%

一部分読んだ 52% 42% 31%

問七、あなたは枕草子をどの程度読んだか。

受贈図書 (その二)

実践文学 第一七・一九号

女子大国文(京都女子大学国文学会) 第二七・二九・三〇号

女子大文学(大阪女子大学国文学研究室) 第一四号

人文科学科紀要(東京大学教養学部) 第三〇輯

人文研究(大阪市立大学文学会) 第一四巻第四号

人文論究(北海道学芸大学函館人文学會) 第二三〇号

食物科 英文科 国文科
全部読んだ 3% 20% 18%

半分位読んだ 38% 38% 42%

一部分読んだ 59% 42% 40%

右の結果によると、好きな作家Vの第九位までは現代の一般の読書傾向を示すものであろう。このことと後の△現代文学と明治・大正文学のどちらを多く読むかVという問に対して、現代文学を多く読むと答えた者が圧倒的に多いのとは答が一見矛盾しているように思えるが、好きな作家をあげる場

東京教育大学文学部紀要(国文学漢文学論叢) 第八輯

日本文学(日本文学協会) 第一二巻第六六・七・八号

立教大学(日本文学) 第九・一〇号

日本文学誌要(法政大学国文学会) 第九号

日本文芸研究(関西学院大学日本文学会) 第一四巻 第一・三・四号

文学論集(佐賀大学文学・理学部国文学会) 一九六二年 第四号

月刊文献ジャーナル(富士短期大学) 第一九・二〇号

合に、そのことを尊敬すべき作家として受け取り、文学史上重要な位置を占める作者をあげた人が多いのではないかとと思われる。

第七問の△枕草子をどの程度読んだかVという質問で全部読んだと答えた人が非常に少ないのに、△好きな女流作家Vの項で清少納言が第二位とは少しおかしいが、これは高校の教科書で馴れ親しんだせいであろうか。

(国四 藤田汎子記)

出版部 第二巻 第六号
文芸研究(明治大学文芸研究会) 第一〇号

文芸と思想(福岡女子大学文学部) 第二四号

山邊道(天理大学国文学研究室) 第九号

立命館文学(立命館大学文学会) 一九六二年 第一二二号

りてらえやばにかえ 一九六三年 第一一七号

論究日本文学(立命館大学日本文学会) 第一九・二〇号

立命館大学(立命館大学文学会) 第一九・二〇号

立命館大学(立命館大学文学会) 第一九・二〇号

立命館大学(立命館大学文学会) 第一九・二〇号